

行仙宿・次回行事の事前調査と荷上げ

◇ 実施日：平成26年5月18日(日)；晴、気温18℃。

◇ 参加者：沖崎吉信、川島 功、生熊敏男、生熊千満子、

畑林秀味、畑林清子、益田正子 計7名。

沖崎さんと次回行事の荷上げを何時実施するか相談している
と、畑林清、益田さんが久しぶりに行仙宿に行くとの情報があり、
急遽生熊ご夫妻を誘って一緒に行く事にした。

5月の連休中時に比べると、山の新緑が濃くなり、葉を一杯
広げた木々のこぼれ日の日差しも強くなり初夏を感じる。

登山口駐車場には、笠捨山に友達と登ると聞いていた、高階
美根子さんの車が既に駐車されている。

荷上げ品は、吉開賢淳師から寄贈の缶ビール1箱+お茶(500ml
×24本)1箱、缶ビール2箱(当会)、足場番線50本、バーベキ
ューセット、紙コップと・防虫防臭錠(畑林さん提供)、プラ洗面
器(2)などである。

当初の二人では、荷上げが無理な量であったが、多人数とな
り手分けをして全て荷上げが出来た。

佐田ノ辻では、心地よい風が吹き暑くもなく寒くもない、仕
事がし易い時節を迎えている。

毛布の間に防虫防臭錠を挟む人、管理棟の食材・食器の在庫調
査と整理、管理棟保管の木炭を階下倉庫へ保管替えと整理、チェ
ンソーの点検及びロープ類と滑車確認、行者堂の清掃とシキビ替

え、トイレ清掃する人と適宜別れて仕事をこなす。

東側の屋外で昼食とする。そこへ笠捨山に登って来た高階さん
達3人が戻って来られ、今朝7時半に着き登り、食事済とのこと
で直ぐに下山される。程なく福島県会津地方の男性が来て、玉置
神社までの水場を尋ねられる。以前息子と歩いたが今回断られた
と・・・大峰奥駈道の尾根の上下により、思ったよりも体力的に
きつく、葛川辻でテントを張るとのこと。コーヒーとみかん(カラ
ー)を差し入れする。家具の仕事をしているが震災でかなり影響が
あると・・・本宮からバスで吉野に戻り、宿に駐車した車を取り
に戻り、帰郷することのこと。

デザートに益田さん苺、生熊さんの林檎を賞味する。

午後より生熊・川島は、水場径の要補修段差の調査(約35段)。

畑林清子・生熊千満子さんは、水場の点検に降りる

既存の写真掲示ラックは、連休中の小屋番時に乾・榎本さんに
より再組立と洗剤拭きにより掲示使用に支障ない事から、先般
荷上げた写真掲示ラックは、新規掲示板として東側板壁に沖
崎・畑林秀・益田さんにより設置された。

最後に、行者堂で玉岡さんの早期回復と安全祈願を生熊さん導
師で勤行し下山。

行動タイム

新宮 7:50→9:35 登山口 9:50→10:35 行仙宿→各自作業→11:50
昼食 13:00→作業→行仙宿 14:25→14:55 登山口 15:00→16:30
新宮。(川島 記)

勤行を終えて記念撮影



登山口でいざ出発！



屋外東側で日差しを浴び昼食

